

鯿の湖

無念 『活動休止』

理事長 馬場 智章



「新型コロナウイルス」という言葉を聞いたのは一月後半で当初はさほど気にかけずにニュースを見ていましたが、豪華客船ダイヤモンド・プリンセス号が大きく映し出された頃から、日ごとに身近な問題としてその脅威を感じました。

当協会としてこの問題は『会員の安全』とお客様への『おもてなし』をどのようにしてバランスを取るか難しい課題です。

二月十七日の定例運営委員会では今少し状況を見るとしたのですが、その後の状況悪化で二月二十九日開催予定のJRHハイキングの実施について、同二十六日臨時運営委員会を開き「参加者が五十人超と多い」「室内での昼食と講演」等を考慮して「感染防止」のため、止むを得ず中止を決定しました。

更に日が進むと政府や専門家会議からは、

NPO法人
長浜観光ボランティア
ガイド協会
〒526-0059
長浜市元浜町14-12
湖北観光情報センター
☎ 0749-65-0370
発行責任者
馬場 智章
編集責任者
宮垣 秀太郎



高齢者は重症化しやすいことや、大勢の人が集まるイベントの開催自粛要請等が発表されました。

ガイド活動の継続について全体集会で聴取した意見を踏まえ役員協議を重ねる中、日々報道される感染者数の増加や「小・中・高の一斉休校」など周囲の状況も考慮し、二月二十九日『ガイド活動の三月中休止』を決議しました。

当協会の主要活動は『ガイド』です。これを休止することは当協会始まって以来のことであり、重い重い決断でした。

今回キャンセルさせて頂いた「国友鉄炮ミュージアム、益梅展、曳山博物館、DISCOVER WESTハイキング」などの関係諸団体の方々には、ご理解頂いたことに対し感謝申し上げますと共に、ご迷惑をお掛けしたことを、お詫び申し上げます。

この拙文が皆さんのお手元に届く頃には沈静化に向かい、以前の形でガイド活動が続けられることを願っております。

二年間を振り返って

副理事長 木村 富久子



春爛漫の好季節になり、心も、身体もうきうきし、ステップでも踏みたくなるような気分になるはずですが、今年は、新型コロナウイルスの感染拡大で、当協会もすごい打撃を受けてしまいました。この不安な日々は早く終わらせたかったです。

さて、二年間の任務も終わらせていただき、少し安堵しています。しかし、会員の皆さまは、この二年間で得るものがあつたか？また、充実した活動が出来たか？会員の親睦は深められたか？と自問自答している自分がいまです。でも、馬場理事長のもと、役員全員が一枚岩となり、いろいろな事業に取り組んできました。特に事業部担当の県外研修、総務部担当の湖北ブロック研修等、私の脳裏に鮮明に浮かんできます。また、外国語準備班で取り組んだ「リモンガイド」も軌道に乗りつつあります。

今年度は、また新しいメンバーで、新しい旋風を巻き起こし、当協会の発展のために、ご指導をよろしくお願いいたします。

二年間どうもありがとうございました。

二年間の活動を振り返って

総務の活動を顧みて

総務部長 宮垣 秀太郎

ガイド活動をされる諸先輩が、本当に楽しくお客様と接しておられる姿を拝見するたびに、会員が仲良く助け合いながら、楽しい活動ができる協会づくりの大切さを感じ、しっかりとした協会運営をしなければと思いつつ取り組んでまいりました。

私自身性格的に総務のような緻密な業務は向かないのですが、皆さんに助けられ何とか終えられました。皆さんありがとうございました。

ガイド活動は皆さんが趣味の一環として、また一つの誇りと感じて取り組んでおられると思います。私の思いも同じなので今後は、お客様と楽しく愉快にお話しし、喜んでいただける活動を展開して、長浜市の観光行政にお役に立てればと思っております。



最後の「あ・す・が」の思い

事業部長 永田 太一

皆さん、二年間、事業部の諸活動に御理解と御協力
「ありがとうございます」
「すこしは」
「がんばれたかな」
いやいや、まだまだというお叱りの言葉が出てきそうですが、自分なりに、精一杯活動してきたつもりです。

「あ、すこい」曳山博物館ガイド等出勤機会の増加や外国人ガイド（リモンガイド）、新チームでのJRハイキング、文化塾、会員の新加入等は、「がっちり」とした協会の発展につながっています。

「あど、すこし」それぞれの思いを持った会員の意欲を高める事業を増やせば、歴史と伝統のある「がっちりした」協会の土台ができます。

最後になりましたが長浜ボランティアガイド協会の明るい「あす（未来）」が「続き、益々発展していくことを期待します。」



総務の活動を顧みて

小谷 武直

二年間会員の皆様のおかげで何とか大役を終えさせていただきました。

先輩理事の皆様にご教えていただいて、日々学ぶことが多くありました。なかでも印象に残っているのは、九月十八日の湖北ブロック交流研修会でした。（五十五名参加）

実施担当協会として他協会のガイド仲間の皆様に精一杯のおもてなしが出来たとおもっています。

改めて長浜の姿を再発見でき本当に良かったと思います。そしてご支援ご協力いただいた会員の皆様にお礼を申し上げます。

~~~~~  
安堵の気持ち

小川 敬子

なれない会計係をして二年・・・私にとって初めての事で大変でしたが何とか終えそうぞホッとしています。

ガイド案内がしたくて入会したのだけれど、それを運営するのは大切な役目。

皆様に協力してもらい自分の出来る事を成しガイド協会の盛り上げにほしいと願います。

理事活動で得たもの

近藤敏子

赤い制服に縫い込まれた「凧の湖会」託された諸先輩のおもい。私のガイド活動の残りの日は、未来にそのおもいを繋げていく使命があると思っています。時に突発的な自分の狭い視野の一点での発言で自己嫌悪に陥る日も多々あり、一方でそれぞれ個々の存在感がなくては「協会を思う心は生まれてこない」と知る場でもありました。スタートした「リモンガイド」は未来へ繋ぐものとして個々の心意気を立ち上げ頑張る力を養う印象深いものでした。

会員の皆様のお導きにより任期を終えることができました。深く御礼申し上げます。

「協力に感謝」

竹越徳浩

毎月、出勤計画を作成する際に、すんなりと立案できれば、問題はないのですが沢山のガイド要請に対応するには、予定外の出勤を会員の皆様をお願いする事もあり、その際には多くの方が快く了解くださり助けて頂きました。本当にありがとうございます。

心からの感謝申し上げます。

二年を振り返る

中川明

事業部員として、二年間仕事をしてきました。幅が広く、分散された形で、何をどうしているのか分かりませんでした。

部として纏まることが少なかつたです。分担の仕事は、①JRHハイキング ②新規(事業)開拓 ③清掃計画などでした。

①企画から下見まで交渉、段取り等をして実施。参加者の声や笑顔に、この仕事の楽しさや喜びを分かち合えました。

②初年度の六月運営委員会で実施計画案が承認されましたが、その後動かないまままで今日を迎えています。その年の九月に「23の日」を立ち上げ、様々な形の活動を十五回実施できました。(詳しくは前号で報告しています。)

③芝生の管理や清掃計画に従事しました。

これからも協会の活動が、楽しく喜びを分かち合ってより強い絆が出来ることを願っています。



二年間の活動を体験して

藤居きよ子

私にとってこの二年間の活動は、本当に良い経験だったと感じています。その中でも昨年九月に開催された湖北ブロックの研修会に携わった事は、準備段階での苦労を忘れる位に、満足出来る結果で安堵した事が、今でも心に残っています。

当協会は長浜を尋ねて来て下さるお客様と直接お話し出来るのが素晴らしいです。ガイドに出る時は、新たな出会いにいつも期待をしています。今後は役員での経験も生かして微力ですがガイド活動で長浜の素晴らしい景色や面白さを多くの人にお伝えしたいと思っています。会員の皆様、本当に協力ありがとうございました。

二年を振り返る

沓水達雄

アッと言う間の二年間で、総務部の一員として活動させて頂きました。役割を十分に果たせたかを、自信を持って言えるのには程遠い気もしていますが、この経験は一人の協会員として今まで以上に協会活動に協力していく気持ち強くしました。

今後共、よろしく願っています。

《随筆》「長浜曳山祭り」の変更を顧みて

宮垣 秀太郎

今年世情を考慮され、長浜曳山祭りが春から秋に変更されました。

すでにご承知の方も多いと思いますが、知っていただきたく記載いたします。

本来、「長浜八幡宮の祭祀」は、一年間に二回  
四月 春季例祭神輿渡御祭（十三日）

例祭（曳山祭）同神輿還御祭（十五日）  
十月 秋季例祭神輿渡御祭（十三日）

同例祭・同神輿還御祭（十五日）  
八幡講社大祭

に執り行われています。

また、長浜曳山祭りが現在の「曳山巡業」「太刀渡」が合わされ、長浜八幡宮の春の例祭に執り行われる形になったのが、昭和三十二年四月十五日が始まりです。

明治元年からの記録を見ても、  
「曳山巡業」や「太刀渡」は、長浜八幡宮の秋の例祭・春の例祭などまちまちに執り行われていました。

その時代のいろんな出来事（調べると面白い）とが分かります（変更されていたのです）。

何事も、時代の流れで対応する考え方はすぐ前向きで継承してゆへべきでないでしょうか。

（参考文献・長浜市史第六編）

「お知らせ」

長年ご夫婦でご活躍下さいました川田幸夫様が、退会されましたので、お知らせいたします。

長浜観光協会四居家担当者様の変更

お世話になっている長浜観光協会・四居家の担当者様が四月一日より左記三名様が交代制で担当されます。

- 石川 様
- 山口 様
- 石地 様

長年お世話になっております居林様は、観光協会の事務局へ移られます。

今後のスケジュール

- 四月十七日（金） 運営委員会
- 四月二十三日（木） 十二時〜
- 令和二年度通常総会
- 場所 南郷里まちびじゅセンター

「鯡の湖」発行を終えて

二年間本誌「鯡の湖」の発行を担当させて頂きました。第一三九号から第一四六号まで八回の発行を無事終えさせて頂けたのは、原稿をお寄せ下さった協会員様や愛読下さった皆様のおかげでした。

ご期待に添えた内容かは、皆様方のご判断に委ねますが、今後共、NPO法人長浜観光ボタントリーガイド協会の発展と共に、協会誌「鯡の湖」の紙面も充実されていく事を、願わずにはられません。

次号からは、編集者も代わり紙面も新しくなります。今後共、「鯡の湖」へのお力添えと、新「鯡の湖」へのご期待を、心より願います。次号です。

最後になりますが、ご協力・ご愛読ありがとうございます。

「鯡の湖」編集員一同

